

2020 年度特定非営利活動に関わる事業報告書

事業の成果

(1) 定例勉強会 各教室参加状況 (スタッフ数は今年度教室参加者のみ)

		開催回数	スタッフ	生徒	学生 スタッフ	教室開催日	
定例勉強会	火曜教室	24 回	7 名	6 名	1 名	6/16~12/22、3/23	
	土曜教室	20 回	5 名	6 名	1 名	6/20~1/9	
	木曜教室	26 回	6 名	6 名		(4~8 月オンライ有) 9/1~3/18	
	文化ホール	33 回	18 名	23 名	1 名	6/6~3/13	
参加小学生内訳		小 1-2 名	小 2-0 名	小 3-3 名	小 4-2 名	小 5-2 名	小 6-3 名
参加中学生内訳		中 1-4 名	中 2-7 名	中 3-16 名	既卒-2 名		

(2) 集中勉強会

		開催回数	スタッフ	生徒	学生スタッフ	期間
日曜・ 冬休み教室	中学生 既卒生	29 回	19 名	15 名	2 名	10/11~3/23

(3) 特別授業

		開催回数	スタッフ	生徒	学生スタッフ	期間
特別補習	中学生 既卒生	13 回	1 名	2 名	2 名	10/31~2/20

*2020 年度は新型コロナ感染拡大のため 2020 年 3 月 1 日~6 月頭まで教室を閉鎖した。

2~3 学期は各教室の状況で授業を行い、中学生教室はオンライン学習も導入された。

〈本年度高校進学先〉

松戸市立松戸高校・柏市立柏高校・千葉県立松戸国際高校・
 千葉県立松戸南高校 (午前)・千葉県立松戸南高校 (夜間)
 千葉県立鎌ヶ谷西高校・千葉県立流山北高校・千葉県立流山おおたかの森高校・
 私立西武台千葉高校・私立関東国際高校・

(4) スタッフ会議・勉強会

小学生スタッフ会議	開催3回・参加スタッフ12名
3つのグループに分かれて〈統一テキストブックの検討〉・〈国語教科書の分析まとめ〉・〈季節毎の行事の伝え方〉の課題をそれぞれで取り組み、会の中で報告。	
中学生スタッフ勉強会	開催1回・参加スタッフ14名／外部参加者5名
11月28日「日本語教育講演会ー共生社会をめざしてー」を開催 講師に松戸市の日本語指導支援スタッフコーディネーター藤沢明美さんをお願いし、学校派遣の成り立ちや現在の学校内での外国籍児童生徒のレベルチェック方法や指導状況などの話を聞いた。	

(5) 広報活動

会報『かけはし』	22号‘20年4/29発行 ・23号‘20年11/25発行 ・24号‘21年3/25発行
ホームページ・FB	各行事、教室状況、会報、順次更新

(6) 交流事業

例年企画又は参加してきた下記行事はコロナ感染拡大状況のためすべて中止とした

フリーマーケット・先輩と話そう会・おやこ会・松戸市国際文化祭
スタッフ交流会・みらいフェスタ・バスハイク

(7) 外部講習会等への参加

月日	課題	参加	主催
‘20年9月4日	MIEA 世界めぐり～STAYHOME in VITNAM	3名	松戸市国際交流協会
‘20年9月17日	子どもの未来応援プラン策定にあたってのヒアリング	1名 zoom	松戸市子ども政策課
‘20年10月21日	外国人児童生徒等の受け入れに関する運営連絡協議会	1名	千葉県教育委員会指導課
‘20年10月28日	コロナ禍での日本語教育の現状と将来を語り合う	2名 zoom	千葉県国際交流センター
‘21年2月23日	外国人児童生徒の日本語指導をめぐるソーシャルネットワーク	3名 zoom	筑波大学
‘21年3月2日	子育て・子どもの孤立を予防するための地域円卓会議	1名	まつど市民活動サポートセンタ
‘21年3月21日	コロナ禍のグローバル教育を考える	3名 zoom	茨城大学

(8) 2020年度松戸市市民活動助成事業

【事業名：外国人の子どものための新教室設立】

日本語ボランティアスタッフ養成講座開講

月 日	2020年7月1日～8月19日（全9回）新松戸市民センター
講 師	中山 眞理子氏（中野区国際交流協会）
受講者	外部参加15名 当会会員5名
成 果	グループ分けされたチームごとの課題で模擬授業形式の学習方法。新人は即戦力となる準備ができ、現スタッフには気付きを与え指導力の強化となった。講座修了後、新松戸教室スタッフとして10名、既存教室の補充として2名が活動を開始した。

トライアル新松戸教室を開催

対象	開催回数	指導スタッフ	生徒	運営スタッフ	場所
小学生 中学生	17回	10名	9名	2名	新松戸市民活動 支援コーナー
生徒内訳	小学5年2名・ 中学1年3名・ 中学3年4名				
生徒出身国	フィリピン・中国・スリランカ・米国				
期 間	2020年9月2日～12月23日 1/13～3/17間コロナ緊急事態宣言のため休講とした				

今後の取り組み

1) 活動場所の確保 利用してきた新松戸市民活動支援コーナー・第一会議室の使用許可が不確定であり教材等の保管問題としても独自で使用可能な場所の確保が課題。
2) 新松戸教室の社会的役割の充実 日本語が理解できずに日々の学習や進学に苦勞する生徒たちを支援するため、スタッフの充実と運営基盤の強化を行い地域・行政との連携を図り新しい地域に密着した頼れる教室作りを目指していく。